どうしてそう言うの？ 慣用句⑤

にているところを、自分のことばで書いてみよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

各問の「すがた」の文と「意味」（＝のあと）を見て、「にているところ」を2行で書きましょう。
「つかうことば」のすがたのことばは1行め、意味のことばは2行めに、1つずつつかいます。

れい **花を添える** ＝ はなやかさをそえて、引き立てる。

すがた ふつうの食たくに、小さな花を一本そえる。

つかうことば **すがた【ふえて】意味【引き立てる】**

すがたの **花が一本ふえて、ぱっと明るくなる** ところが、

意味の **はなやかに引き立てる** ことににている。

(1) **手を染める** ＝ ある物事に、関わり始める。

すがた 白いぬののはしを、あおい水にちょんとつけると、そこから色がひろがる。

つかうことば **すがた【色がひろがる】意味【関わり始める】**

すがたの ＿＿＿＿＿＿＿＿ ところが、

意味の ＿＿＿＿＿＿＿＿ ことににている。

(2) **膝を突き合わせる** ＝ 親しく近づいて、じっくり話し合う。

すがた ふたりがむかい合ってすわり、ひざとひざがふれあうほど近い。

つかうことば **すがた【近い】意味【じっくり】**

すがたの ＿＿＿＿＿＿＿＿ ところが、

意味の ＿＿＿＿＿＿＿＿ ことににている。

(3) **お鉢が回る** ＝ 順番に、役目が自分に回ってくる。

すがた ごはんのおひつを、じゅんばんにとなりへまわし、ついに自分の前に来る。

つかうことば **すがた【じゅんばんに】意味【役目】**

すがたの ＿＿＿＿＿＿＿＿ ところが、

意味の ＿＿＿＿＿＿＿＿ ことににている。

(4) **目がくらむ** ＝ 強い刺激で、正しく判断できなくなる。

すがた まぶしい光を見たとたん、目の前がまっ白になって、まっすぐ歩けない。

つかうことば **すがた【まっ白】意味【判断】**

すがたの ＿＿＿＿＿＿＿＿ ところが、

意味の ＿＿＿＿＿＿＿＿ ことににている。

(5) **息を凝らす** ＝ 音を立てないようにして、気もちを集中させる。

すがた かくれんぼで、おにの足音が近づくと、息をとめてじっとする。

つかうことば **すがた【息をとめて】意味【集中】**

すがたの ＿＿＿＿＿＿＿＿ ところが、

意味の ＿＿＿＿＿＿＿＿ ことににている。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

どうしてそう言うの？ 慣用句(かんようく)⑤【こたえ】

にているところを、自分のことばで書いてみよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

赤いぶんは「こたえのれい」です。同じことばでなくても、ようすがつながっていれば○です。
おうちの方が、下の「まるつけのみかた」を見て○をつけてください。

(1) 手を染(そ)める ＝ ある物事に、関わり始める。

すがた 白いぬののはしを、あおい水にちょんとつけると、そこから色がひろがる。

すがたの「ぬのを水につけて、色がひろがる」ところが、
意味の「ある物事に関わり始める」ことににている。

---

(2) 膝(ひざ)を突(つ)き合わせる ＝ 親しく近づいて、じっくり話し合う。

すがた ふたりがむかい合ってすわり、ひざとひざがふれあうほど近い。

すがたの「ひざとひざがふれあうほど近い」ところが、
意味の「じっくり話し合う」ことににている。

---

(3) お鉢(はち)が回る ＝ 順番に、役目が自分に回ってくる。

すがた ごはんのおひつを、じゅんばんにとなりへまわし、ついに自分の前に来る。

すがたの「おひつをじゅんばんにまわす」ところが、
意味の「役目が自分に回ってくる」ことににている。

---

(4) 目がくらむ ＝ 強い刺激(しげき)で、正しく判断(はんだん)できなくなる。

すがた まぶしい光を見たとたん、目の前がまっ白になって、まっすぐ歩けない。

すがたの「目の前がまっ白になる」ところが、
意味の「正しく判断(はんだん)できなくなる」ことににている。

---

(5) 息(いき)を凝(こ)らす ＝ 音を立てないようにして、気もちを集中させる。

すがた かくれんぼで、おにの足音が近づくと、息をとめてじっとする。

すがたの「息をとめて、じっとする」ところが、
意味の「気もちを集中させる」ことににている。

おうちの方へ（まるつけのみかた）

- こたえは一れいです。同じことばでなくても、次の□がそろっていれば○です。
- □ すがたのことばを、すがたの文の中で使っている
- □ 意味のことばを、意味の文の中で使っている
- □ すがたのようすと、意味のようすが、つながって書けている
- 「つかうことば」は入れたうえで、ほかの部分の言いかえはOKです（例:「ふれあうほど近い」を「ぴったりくっつくほど近い」）。書き写しただけなら△です。